



Contents

- ・【巻頭エッセー】私の秘密基地… 栗山和樹 ●表紙
- ・ Library Data 2019 ●2～5
- ・風景の中で⑤… 図書館長 井上郷子
資料の部屋⑤… 宮部真砂子 ●6
- ・【私のおすすめ】… 筒井紀貴 土屋絵理 木暮照美 ●7～8
- ・ Information ●8

Parlando

ぱるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

No.307

【巻頭エッセー】私の秘密基地

栗山 和樹

はじめまして、キーボード・ハーモニーやポピュラー音楽研究Cなどの授業を担当しています栗山和樹です。

私が国立音大に入学した時、ちょうど視聴室の大規模な改修工事が行われ、地下一階に大きな、ピカピカの視聴室ができました。

改修前も地下は視聴室*だったのですが、好きなレコードを視聴できる個人視聴機は10台ほどしかなく、残りの大きなスペースには、刑務所の面談室みたいに、ヘッドフォンがズラリと並べてあって、図書館の方がDJのように選曲した音楽を壁に向かって聴くようになっていました。掲示板には今かかっているレコードのジャケットが飾ってあって、FM、AMのラジオも聴けるように選択ボタンが付いていました。兎に角、流れて来る曲を聴くしかなく、何を聴けるかは、行ってみないとわからないのですが、自分の知らない曲が聴け、朝一なんかに行くと、東向きの図書館は朝日がキラキラと綺麗で、テレマンがかかっていたりして、素敵でした。

高校は受験一色の進学校（いや、みんな合格しなかったので、「受験校」と言われていました）に通っていたので、学校にいる時も音楽が聴けるなんて、大学生活は夢のようでした。

当時のくにたちは、教育科が学年に600人、声楽科、ピアノ科が、それぞれ200人もいるマンモス校で、昼食時に学食なんて満員で入れないから、買って外で食べたり、教室で食べたり、兎に角、居場所がない大学でした。アパートに帰っても、両隣はピアノ科で、ずっとピアノの音がなりっぱなしで、うるさくて曲なんて書けないので、ほとんど毎日、図書館で宿題を

やっていました。

新入生は大体、朝9時からレッスンなので、朝一から、夜8時まで（昔は8時までしか大学にいられなかったの）、ずっと大学にいました。管弦打の友達は研究室があるから、居場所があるのですが、作曲は研究室なんてないし、図書館の個別閲覧室に荷物を放置して、そこを基地に、お腹がすいたら、キャンパスをブラブラして、また戻ってきて宿題やって、みたいな生活でした。

旧1号館（7号館のある場所にあった校舎）の裏には、「大陸」っていう、結構、遅くまで営業しているラーメン屋があって、店内には「ここは紳士のお店です」って貼り紙がしてあり、大きな声で喋ると怒られるお店があって、福井さん（今、声楽の教授の）とワンタン麺食べたのが懐かしいです。そうそう、2号館の地下にもラーメン屋があって、階段の下で営業していたのです。超狭いから、座席なんて少ししかなく、ラーメン買って2-01教室に持って行って食べたものです。当時の2号館の机は、今の5号館の三階大教室のように床に固定されていて、天板は斜めになっているから、ラーメンひっくり返す奴とかいて、大変でした。

あらっ、全く図書館と関係ない文章になってしまいました。大学に入学してから40年、まるで昨日のように思い出される楽しい時期を図書館と共に過ごさせていただきました。

●くりやま かずき 本学教授（音楽理論）

*2016年リニューアル後は4階になりました：ぱるらんど担当